

(様式4-2)

研修成果概要

所属名 名張市子ども発達支援センター

職名・名前 教育専門員 松田和隆

1 事業の名称 発達障がい児担当指導者内地留学

2 留学先の名称 三重県立小児心療センターあすなる学園

3 研修主題 「あすなる学園の入院治療から学んだこと」

4 研修成果の概要

- (1) 発達障害と子どもの発達過程について、次の項目の基礎知識を学んだ。
 - ・発達障害の定義
 - ・自閉症
 - ・注意欠陥多動性障害
 - ・学習障害
 - ・思考、記憶など知的機能の発達
 - ・情緒と対人関係の発達
 - ・社会性の発達
- (2) あすなる学園での入院治療に研修生として携わり、以下のことを学んだ。
 - ・あすなる学園の病棟は、1-東病棟、1-西病棟、2病棟の3つに分かれている。
 - ・高品質かつ一定水準の治療を維持管理するためのシステムを構築し、患者満足度の向上を図るため、入院治療管理システムを導入している。
 - ・入院治療の進捗状況は月1回のケースカンファレンスを軸に管理され、治療方針が多職種スタッフ間で共有されている。
 - ・病棟での主な治療活動は、療育活動、余暇生活指導、診察（精神療法）、薬物療法、心理療法、家族指導、地域支援である。
 - ・精神遅滞を伴う広汎性発達障がい児の昼食支援・入浴支援・就寝支援を行い、できるだけ自分でするように声かけや誘導を行うこと、児のモチベーションを上げるための工夫をすることが有効である。
 - ・療育活動は集団遊び、生活スキル、買い物学習、制作、体力づくりなどが行われている。療育活動のリーダー実習を通して、綿密な準備が必要であること、児の不安を取り除くための配慮が重要である。
 - ・2病棟男子中学生グループに対しては、モラルワークを定期的実施している。「女性との接し方」「思春期の心と身体の変化」などをテーマに、日常生活における具体的な場面や事例を元に学んでいる。
 - ・あすなる学園の療育活動は、子どもの発達に次のような効果をもたらす。
 - ①相手との距離のとり方、コミュニケーションの仕方を練習し、対人スキルを身につけていく。
 - ②買い物、外出などの体験活動を通して、社会での生活に必要な力を身につけていく。
 - ③はみがき、食事、身辺整理などの基本的な生活習慣が養われていく。